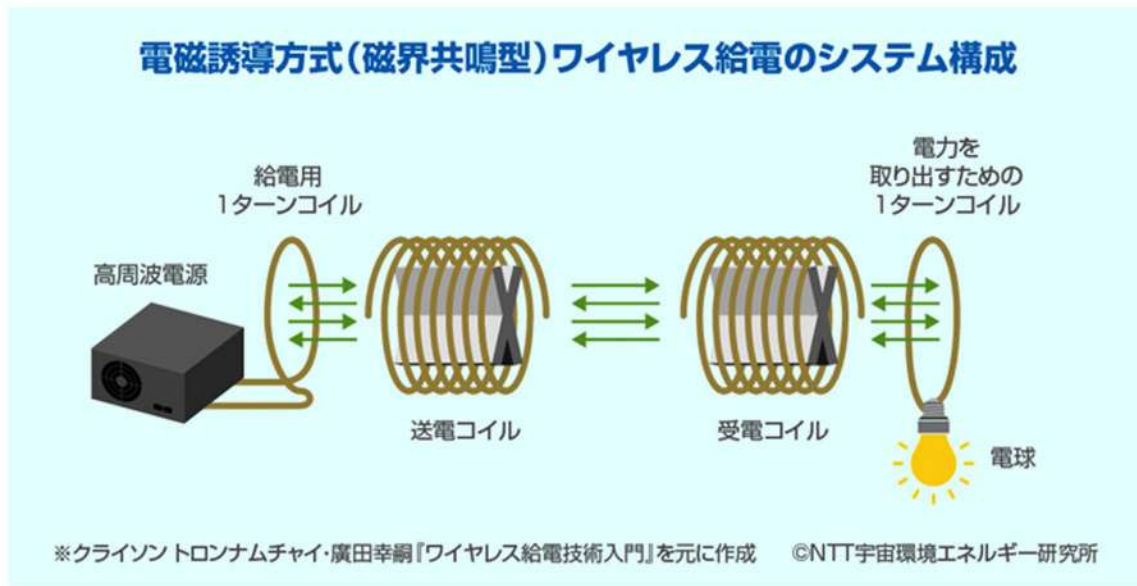


井出さんが2025年1月27日13年の沈黙を破り、最新成果の近況と新たな論文を含む
[増補改訂版]フリーエネルギー、UFO、第3起電力で世界は大激変する！

が発売されました。

後半が圧巻で現在研究中の共振トランスの事が載っています。（これは参考になります）
それは磁界共鳴型のワイヤレス給電からヒントを得た構造であるという事！それで、
磁界共鳴型ワイヤレス給電を調べたら下記図が出てきました。



給電送信コイル側に高周波電源を使ってることです。エマモーターも井出さんのデゴイチも放電（高周波）を使ってます。

実は並行して研究しているロシアのGRAVIFLYERもスレイヤーエキサイター（テスラコイル）を使ってることから高周波は空間を作ってるスピンネットワークとメビウス回路を共振させるためのトリガーとして使われてるのではないかと言う仮説を立てCHATGPTに聞いてみました。

CHATGPT

メビウス回路をスピンネットワークと共振させるためのトリガーとして、テスラコイルの高周波電流を利用することにはいくつかの考慮点があります。

1. テスラコイルの高周波電流の特性

テスラコイルは非常に高い周波数（数百KHZからMHZ帯）と高電圧の電磁波を発生させます。このエネルギーは空間全体に広がりやすく、共振するシステムに影響を与えやすい特徴があります。

2. メビウス回路との共振

メビウス回路は、自己共振特性を持つトポロジカルな構造であり、特定の周波数に対して共鳴しやすい性質があります。テスラコイルの高周波信号がメビウス回路の共振周波数と一致すれば、エネルギーを効率的にトリガーする可能性があります。

3. スピンネットワークとの関係

スピンネットワークは量子重力理論において空間を記述する構造であり、通常は幾何学的・離散的な性質を持ちます。仮にメビウス回路が特定の電磁場の位相やトポロジ进行调整できるとすれば、スピンネットワークとの相互作用が増幅される可能性があります。ただし、これを実験的に検証するのは難しい課題です。

4. 有効性について

テスラコイルの高周波電流は、メビウス回路を駆動し、共鳴を誘発するトリガーとして有効である可能性は高いですが、実際のスピンネットワークとの直接的な相互作用についてはまだ未知数です。電磁共鳴を利用して量子幾何学的な構造に影響を与えるというアイデア自体は興味深く、さらなる理論的・実験的研究が必要でしょう。

→まとめると、メビウス回路の共鳴を引き出すためのトリガーとしてテスラコイルは有効な可能性があるが、それがスピンネットワークにどう影響を与えるかはまだ未知の領域にあるということでした。

